

ようこそ、ポルトガル語学科へ！

学科長 子安 昭子

新入生の皆さん

外国語学部ポルトガル語学科へようこそ。今年もこうして皆さんを迎えることができ、心よりうれしく思います。ポルトガル語学科は今年度で創設 60 周年を迎えます。2 年生以上の先輩たちとともに学科の新しい歴史を作っていきたいと思います。

皆さんは「外国語学部」の英語表記を意識したことがありますか？同じく「ポルトガル語学科」の英語表記も。それぞれ Faculty of Foreign Studies、Department of Luso-Brazilian Studies です。Studies つまり研究という言葉が入っています（Luso-Brazilian については 1 年生の必修科目「ポルトガル語圏研究入門」で詳しく学んでくださいね）。皆さんは言葉だけを学ぶではありません。その言葉が話されている国や地域、すなわちポルトガル語圏の研究をすることになります。

もちろん言葉は基本ですが、どんなに機械翻訳の技術や精度が上がっても、人間が自分の言葉で相手に何かを伝えようとする意義はこれからもあると思います。皆さんが日本にいる外国人の方たちがたとえつたなくても日本語で話そうとするとき、どこか応援したい気持ちになりませんか。それと同じです。皆さんがいつかポルトガル語圏の国々で仕事や生活をするとき、自分のポルトガル語でコミュニケーションを取れば、相手の方たちはきっとあなたに信頼や親近感をもつことでしょう。

ただ私たちの学部学科は「研究」なのです。その国や地域の文化や歴史、社会を学ぶことが求められます。すなわち「地域研究」です。「言葉と地域研究」。皆さんは今日からこの 2 つのエキスパートになることを目指してください。我々教員はそんな皆さんと一緒に授業をやっていきたいと思っています。

もうひとつ新入生の皆さんへのメッセージとして、これからの 4 年間、世界の出来事に目を向けてください。同時に日本にも関心を持ってください。世界の中で日本はどんな位置にあるのか、また日本は世界をどうみているのか。こうしたことはなにも政治家や外交官の方たちだけが考えることではありません。一人ひとり、自分の周りで何がおきているのか考えることは大切です。そこから新たな気づきが生まれます。大学生活は勉強、サークル、バイトといくら時間があっても足りないかもしれません。それでも皆さんはどうか自分を見失うことなく、健康に留意して、いろいろなことにアンテナをはって、これからの 4 年間で過ごして下さい。

在校生の皆さん

よい新学期を迎えたことと思います。2 年次生は、語学カリキュラムの中で最も内容が複雑で予習・復習が必要な年を迎えます。様々な授業を通して学んだ基礎を向上させることを目指してください。そしてどのような研究コースを選出するかについてももしっかり考えてください。

3 年次生は、学習してきたことを応用する年を迎えます。「総合ポルトガル語」という 6 科目を選択し、ポルトガル語で様々な資料を読み解き、コミュニケーション力を向上させることを目指してください。そのために積極的に授業に参加することは不可欠です。また、自分が選んだ研究コース科目の履修が進み演習（ゼミ）も始まります。自分が興味をもつ分野を楽しく勉強しましょう。

4 年次生は、就職活動を頑張ることになるでしょう。しかし「総合ポルトガル語」の 2 科目の履修がまだありますから、ポルトガル語をさらに磨くことを心がけてください。ちなみに内定が決まり次第、学部・学科へも報告してください。

この 1 年間で皆さんにとって実り多い時間となりますように。教員一同、心から願っています。